

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社五十川商店)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			事業を行うにあたり全ての面で差別を禁止し、社員が自覚を持ち活動している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			上下関係や縦関係、ハラスメント行為は行わず、社内全員でハラスメント行為の防止に努めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			労働時間 7:30~15:30(内、休憩1時間30分)残業無し、休憩は個々のペースで午前と午後15分必ずとるように徹底している。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			現在外国人労働者はいないが、今後雇用した場合、差別や人権侵害の防止に努めている。				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			作業員の安全装備品の支給・定期更新、各種講習会(安全講習・実技講習など)へ参加し、労働災害など起きないように努めている。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			リフレッシュ休暇や有給休暇を取得するように、社員に計画させている。また、相談窓口を設置し相談ごとに対応できるようにしている。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			現在は雇用する予定がないが、高齢者・障がい者・国籍・男女問わず勤務できる体制をとっている。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			資格取得の推奨、取得するための補助(休暇取得・受講料など)を行っている。業務に関する研修会・講習会に積極的に参加している。			4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			労働条件・賃金など同一労働同一賃金の原則に沿っている。					5.5			8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			定期健康診断・インフルエンザワクチン接種などを会社で負担、感染予防用のマスク・手指消毒液の配布を行い健康な状態で働けるようにしている。			3					8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物を細かく分別し、極力資源化している。										11.6	12		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			作業車両の燃料の使用量・暖房用の灯油使用量を把握している。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			使用車両のエコドライブに心がけている。灯油を使用する暖房器具を減らし、ベレットストーブを使用、CO2排出の削減に努めている。							7.2 7.3			12.4	13.3						
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			産業廃棄物の取り扱いの講習会などを受講し、取り扱えない物のリストを作り、社内でも共有している。			3.9			6.3				11.6	12.4						

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
信州プラスチックスマートへ登録し活動してる	紙製クリアファイルの導入・ラベルレスペットボトル商品の購入・業務中にゴミ拾いを行い水系へのゴミの流入を減らす・プラスチック製品使用・排出の削減、環境負荷の削減に努めている。												12					
エンカル消費を広める啓発活動をしている	飯田市のエンカル消費キャラクターを紙製クリアファイルに印刷し書類配布時に使用している。作業車両に飯田市のエンカル消費キャラクターを添付しエンカル消費の啓発活動を行っている												12					
南信州いいむす21に登録し活動している	①業務中にゴミ拾いを行っている（河川水系にゴミが流れこまないように） ②エコドライブ ③アイドリングストップ														14			

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定